

#### IV. 財務計画

##### 1. 利益計画

##### 計画損益計算書

(単位：千円)

項 目	年 度	第 1 期	第 2 期	第 3 期
		平成 20 年 12 月期	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期
① 売 上 高		4,260	25,440	48,480
② 売 上 原 価		0	0	0
③ 粗 利 益 ( ① - ② )		4,260	25,440	48,480
④ 人 件 費		0	0	7,200
⑤ 減 価 償 却 費		0	0	0
⑥ 研 究 開 発 費		0	0	0
⑦ 広 告 宣 伝 費		4,520	6,780	6,780
⑧ そ の 他 経 費		146	2,328	2,328
⑨ 経 費 合 計		4,666	9,108	16,308
⑩ 営 業 利 益 ( ③ - ⑨ )		-406	16,332	32,172
< 営 業 外 損 益 >				
⑪ 支 払 利 息 等		-279	-344	-255
⑫ 経 常 利 益 ( ⑩ + ⑪ )		-685	15,988	31,917
⑬ 税 引 前 当 期 利 益		-685	15,988	31,917
⑭ 法 人 税 等		—	—	—
⑮ 当 期 利 益 ( ⑬ - ⑭ )		-685	15,988	31,917

注) 支払利息は利率 15% 元金均等返済 返済回数 60 回と仮定しての数値です。

## 2. 資金計画

計画キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

年 度		第 1 期	第 2 期	第 3 期
項 目		平成 20 年 12 月期	平成 21 年 12 月期	平成 22 年 12 月期
I 営業活動によるキャッシュフロー	税引前当期利益⑬	-685	15,988	31,917
	減価償却費	—	—	—
	買掛金・支払手形増 J	—	—	—
	その他流動負債増	—	—	—
	小 計 A	—	—	—
	売掛金・受取手形増	—	—	—
	在庫増 その他流動資産増	—	—	—
小 計 B	—	—	—	
法人税等の支払額 C	—	—	—	
	<b>I = ⑬ + A + B - C</b>	-685	15,988	31,917
II 投資活動によるキャッシュフロー	固定資産の取得	—	—	—
	固定資産の売却	—	—	—
	小 計 D	—	—	—
	投資有価証券の取得	—	—	—
	投資有価証券の売却	—	—	—
	小 計 E	—	—	—
資金の貸付・回収	—	—	—	
その他の投資支出	—	—	—	
小 計 F	—	—	—	
	<b>II = D + E + F</b>	—	—	—
III 財務活動によるキャッシュフロー	新規借入・社債発行 G	3,000	0	0
	借入返済・社債償還 H	679	944	855
	増資 I	—	—	—
	<b>III = G - H + I</b>	2,321	-944	-855
当期増加・I + II + III		1,636	15,044	31,062
期首残高		0	1,636	16,680
期末残高		1,636	16,680	47,742

<資金調達の源泉の説明>

第1期の資金需要3百万円は、主に宣伝広告費の為の資金であり、制度融資による借入れを予定している。

<計画貸借対照表項目>

(単位：千円)

年 度 項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期
	平成 20 年 12 月 期	平成 21 年 12 月 期	平成 22 年 12 月 期
現金・預金残高	1,636	16,680	47,742
資本金	2,000	2,000	4,000
借入金・社債・割手残高	2,600	2,000	1,400

資金計画「買掛金・支払手形増」「売掛金・受取手形増」「在庫増」 (単位：千円)

	第 1 期 期 首	第 1 期 末	第 2 期 末	第 2 期 末
	想定買掛金等残高	—	—	—
想定買掛金残高	—	—	—	—
「買掛金等増」 J		—	—	—

想定受取手形残高	—	—	—	—
想定売掛金等残高	—	—	—	—
「売掛金等増」 K		—	—	—
想定在庫金額	—	—	—	—
「在庫増」 L		—	—	—

<その他計算上の補助項目>

損益計画「支払金利」

(単位：千円)

年 度 項 目	第 1 期	第 2 期	第 3 期
	平成 20 年 12 月 期	平成 21 年 12 月 期	平成 22 年 12 月 期
(a)借入金等想定平均残高	2,790	2,293	1,700
(b)想定利率 (%)	10%	15%	15%
(c)支払金利計画 (a)×(b)	279	344	255

### 3. 長期計画

#### (1) 事業の展望

利益計画としては、2008年9月で粗利益が経費を上回り、第2期の平成21年12月期決算時には約1600万円の黒字。

又、インターネットを使用しての集客のみならず、定期的に全国各地でオフ会を実施することにより、メンバー（サイト利用者）との親睦を深め、口コミによる組織の拡大も図る。又、2010年に迎えるといわれているユビキタス時代に向けて、PCユーザーの集客のみならず、モバイルSEO対策の強化を積極的に行い、ユーザーを確保すると共に、組織の増加に伴う従業員の雇用、ひいては、事務所の設立を行う。

又、長期計画としては、当SNSで構築した組織を利用し、新たな事業展開を試みることも視野に入れる。

#### (2) 株式公開について

当面、株式会社化は予定していない。